表２　一般論文、研究報告、実践報告の査読評価基準

評価項目	一般論文	研究報告	実践報告
1．本誌の読者に対して有用か	○	○	○
2．本誌にふさわしい論文か	○	○	○
3．研究／実践に独創性や萌芽性があるか	○	◎	△
4．先行研究の展望は十分か	◎	○	△
5．研究／実践の目的が明確に記述されているか	◎	○	○
6．倫理規定に関わる「同意書」についての記述があるか。あるいは被験体への倫理的配慮についての記述はあるか	○	○	○
7．条件の統制が適正で、剰余変数が排除しきれているか	◎	○	△
8．手続きが再現できるように過不足なく記述されているか	◎	◎	◎
9．独立変数と従属変数の関係性が明確に示されているか	◎	○／△	△
10．独立変数が従属変数に与える効果は十分に大きいか	◎／○	○	◎
11．社会的妥当性が示されているか	◎ （応用のみ）	○ （応用のみ）	◎
12．データは結論を支持しているか	◎	◎	◎
13．考察は妥当か	◎	○	○
14．研究結果に学術的／応用的な価値が認められるか	◎ （学術的）	○	◎ （応用的）
15．今後の発展に期待できそうか	○	◎	○
16．文章はわかりやすく、正確に書かれているか	○	○	○
17．用語や概念などが正確に使われているか	○	○	○
18.「執筆の手びき」にそって書かれているか	○	○	○
19．誤字脱字、作図、作表など、論文全体の完成度は十分に高いか	○	○	○